

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



“きちんとオーラ”とお山座り

始業式の朝は、子どもたちの表情が気になります。登園指導に出て行くと、いつも以上に多くの親子が門のところで待っていました。「おはようございます」と、挨拶の声も大きく、張り切っているのがわかりました。横断歩道に立ち、歩いてくるのを見ても、子どもたちの表情はとても明るく嬉しそうでした。「おや？みんな元気そうで調子がいいな！」第一印象は私の想定以上でした。

そして始業式。始まる5分ほど前にホールに向かって歩いて行くと、どの部屋でも、まーるく並べた椅子に座って、先生がお話をしていました。「これから、2学期がはじまるよ～という始業式というのがあります。・・・」と、ゆっくりわかりやすく説明している先生の声が聞こえてきました。

ホールで待っていると、まず、ふじ組さんが入ってきました。先生のお話を聞いて心の準備が整っていたのでしょ。無言で入ってきて、一人一人が前を向いてきちんとお山座りをしました。「すごい！」教頭先生と顔を見合わせ、目配せしました。次はばら組さん。ふじ組さんの放つ“きちんとオーラ”に、ばら組さんも無言で座ります。後に続く全ての組の子どもたちも、次々と見習って座っていきました。

「社会性」といって、「今、この場はどのような態度で臨むべきか」を察知する力はとても大切です。子どもたちの成長を感じた2学期のスタートでした。

〈感謝！〉四校園一斉清掃



サツマイモ畑のツユクサはすこかったね！



年少さんも草取りが上手でした！



広い園庭がスッキリしていい気持ちです！

「暑さ対策」と熱中症予防

朝晩は幾分涼しい風を感じる日もありますが、今年の七、八月の暑さは異常で、蚊も動けなくなるほどの猛暑だったとのこと。小学生の死亡事故を教訓にして、熱中症の対策は万全の上にも万全を期さねばならないと考えています。



特に、十月六日（土曜日）に予定している「運動会」と、それに向けての戸外での保育場面では、子どもたちの体調管理をこれまで以上に慎重に行います。保育室は常にエアコンを効かせ、暑いと感じたらすぐに戻って体を冷やせるようにしておくこと、十五～二十分おきに休憩・給水させること、帽子を被らせることなどを徹底し、決して無理をさせないよう心がけます。

各家庭でも、毎朝の健康チェックを入念にして頂き、充分体調が整わない日は、無理をさせず家庭の様子を見ていただくか、戸外活動への見学の申し出をして頂きたいと思えます。特に睡眠不足は体調不良の原因になりやすいことですので、くれぐれも早寝の習慣化をお願いします。